

平成20年度当初予算(案)の概要についてお知らせします

一般会計204億6,000万円、対前年度比8億3,000万円、4.2%の増 後期高齢者医療事業特別会計を新設

平成20年度の一般会計予算の総額は204億6,000万円、対前年度比8億3,000万円、4.2%増となり、平成14年度以来の200億円を超える予算編成となりました。

歳入では、市税が対前年度比2.5%増となる一方で、国庫支出金が10%の大幅減となっています。

歳出では、牛久駅西地区保育園建設や(仮称)ひたち野牛久小学校の土地購入など、子育てや教育環境の整備、あるいは牛久消防署東部出張所の建設、生活道路・排水路の整備など、安全・安心のまちづくり、そのほかバイオマスの利活用に向けた施策や牛久沼周辺整備など、将来に向かって魅力あるまちづくりに向けたさまざまな事業が具体化する予算となっています。

牛久市各会計予算 (単位：千円、%)

会 計 名	平成20年度		平成19年度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	20,460,000	59.4	19,630,000	54.8	830,000	4.2
国民健康保険事業	7,234,000	21.0	6,712,600	18.7	521,400	7.8
公共下水道事業	2,071,000	6.0	2,079,000	5.8	△8,000	△0.4
青果市場事業	20,800	0.1	20,900	0.1	△100	△0.5
老人保健事業	396,000	1.1	3,996,100	11.1	△3,600,100	△90.1
小規模水道事業	23,800	0.1	23,500	0.1	300	1.3
介護保険事業	2,708,000	7.9	2,471,200	6.9	236,800	9.6
工業用地造成事業	805,000	2.3	920,000	2.5	△115,000	△12.5
後期高齢者医療事業	746,000	2.1	0	0.0	746,000	皆増
特 別 会 計 合 計	14,004,600	40.6	16,223,300	45.2	△2,218,700	△13.7
合 計	34,464,600	100.0	35,853,300	100.0	△1,388,700	△3.9

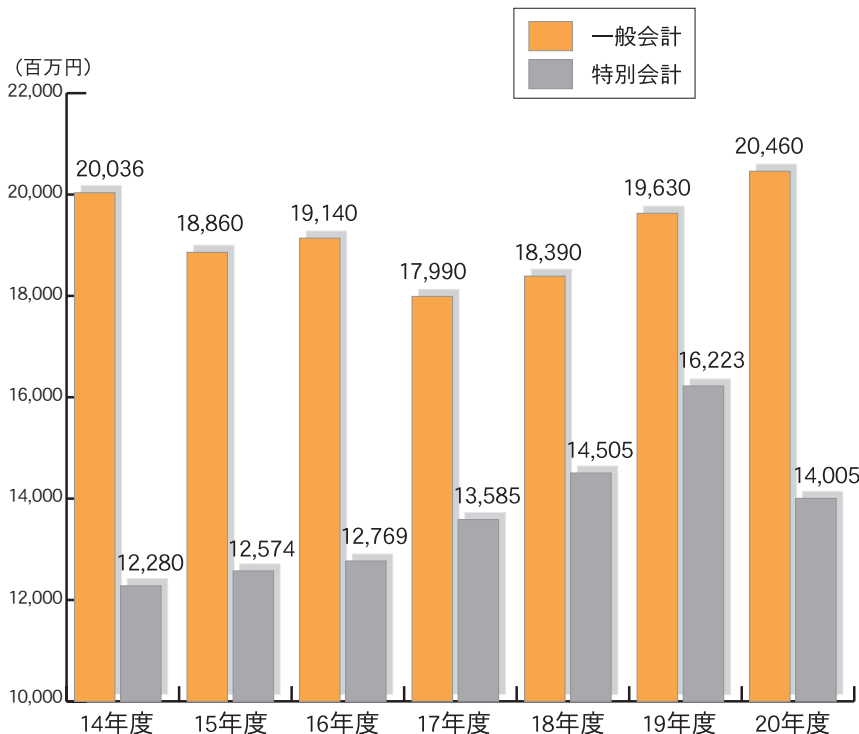
また、特別会計については75歳以上を対象とした医療制度の創設により、新たに「後期高齢者医療事業特別会計」を新設しました。

- ◆国民健康保険事業特別会計は、一般被保険者の医療費増加により、対前年度7.8%増の72億3,400万円。
- ◆公共下水道事業特別会計は、市債の借り換えなどにより、対前年度0.4%減の20億7,100万円。
- ◆青果市場事業特別会計は、管理経費の削減により対前年度0.5%減の2,080万円。
- ◆老人保健事業特別会計は、後期高齢者医療事業特別会計への移行により対前年度90.1%減の3億9,600万円。
- ◆小規模水道事業特別会計は、管理経費の増加により対前年度1.3%増の2,380万円。
- ◆介護保険事業特別会計は、保険給付費の増加により、対前年度9.6%増の27億800万円。
- ◆工業用地造成事業特別会計は、土地購入費等の減額により、対前年度12.5%減の8億500万円。
- ◆後期高齢者医療事業特別会計は、高齢者医療の安定した制度運営のために事業費7億4,600万円。

問い合わせ 市行政経営課 ☎873-2111内線3301

各会計合わせて344億円、財政危機の回避から 子どもたちに誇れる夢のあるまちづくりの出発点へ

年度別会計予算額の推移



一般会計の予算額は、行財政改革、特に、徹底した内部管理経費などの削減により生み出された経費を事業費に充てながら、平成17年度以降、その予算額を着実に伸ばしてきました。

一方、特別会計は、医療や介護といった給付費の増加に伴い、毎年拡大をしていましたが、平成20年度は後期高齢者医療制度の創設などにより、対前年度比13.7%、約22億円減少しました。

今後、多様化する市民ニーズと魅力あるまちづくりに対応するために、それぞれの施策におけるビジョンを明確にし、常に費用対効果の検証を行いながらの事業展開が求められています。

限られた財源を計画的、より効率的に… 市民ニーズや市の発展のための事業を実施

平成20年度の新規または特徴的な事業としては…

総務・衛生

- ・福祉巡回バスの購入
- ・集会所新築に対する補助
- ・防犯カメラの設置
- ・麻疹風疹混合(MR)予防接種助成
- ・水ぼうそう予防接種助成
- ・K A I Z E N活動の推進

民 生

- ・保育園給食における主食の提供
- ・牛久駅西地区保育園の整備
- ・民間保育園の運営助成
- ・高齢者医療制度の確立
(後期高齢者医療事業特別会計の新設)

農業・商工・消防

- ・バイオマスタウン構想の実現
- ・牛久沼周辺の整備
- ・牛久消防署東部出張所の建設
- ・防災広場の整備
- ・消防後方支援車の購入

土 木

- ・生活道路の排水や交通安全施設の整備
- ・根古屋川改修などの水害対策事業
- ・牛久駅西口アクセス道路建設
- ・城中・田宮線(延伸分)建設
- ・牛久駅にエレベーター等を設置

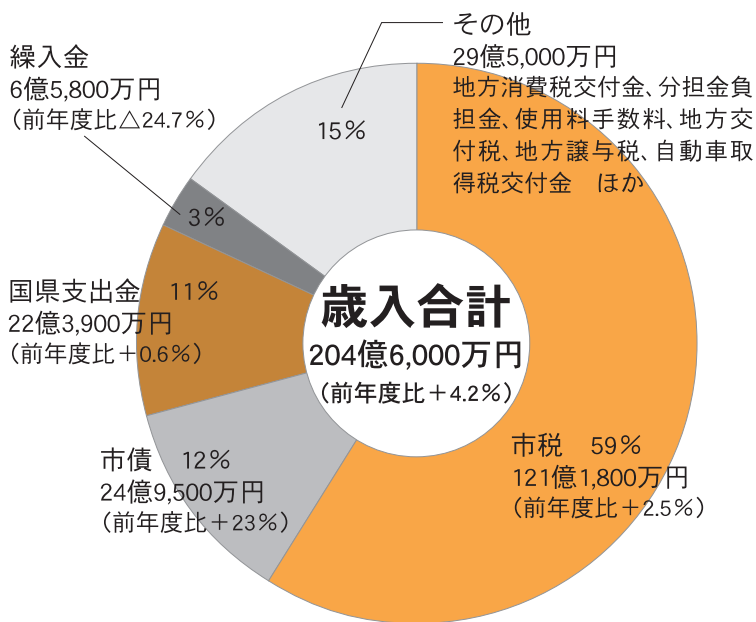
教 育

- ・(仮称)ひたち野牛久小学校土地購入
- ・国民文化祭開催
- ・城址公園の整備
- ・市中央生涯学習センターなどの駐車場増設

特別会計

- (国民健康保険事業)
- ・健診の義務化、保健指導の実施
- (後期高齢者医療事業)
- ・後期高齢者医療広域連合の運営
- (工業用地造成事業)
- ・奥原工業団地の拡張

※詳しくは市行政経営課ホームページをご覧ください。

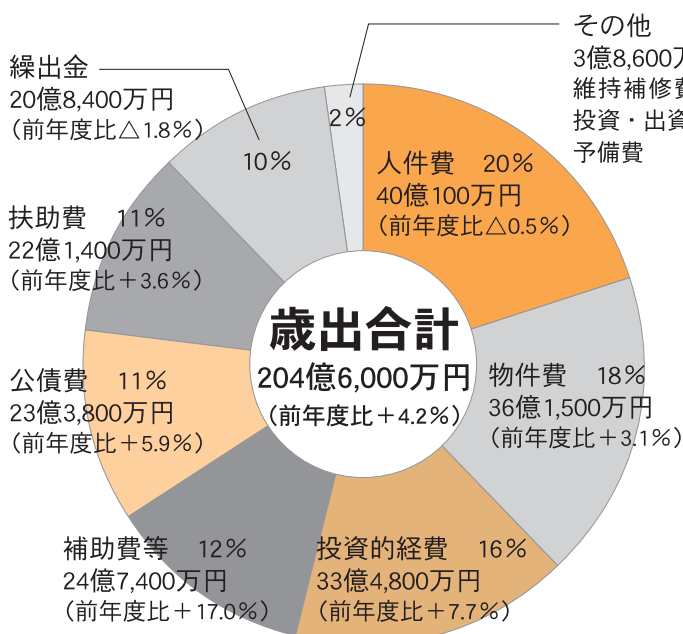
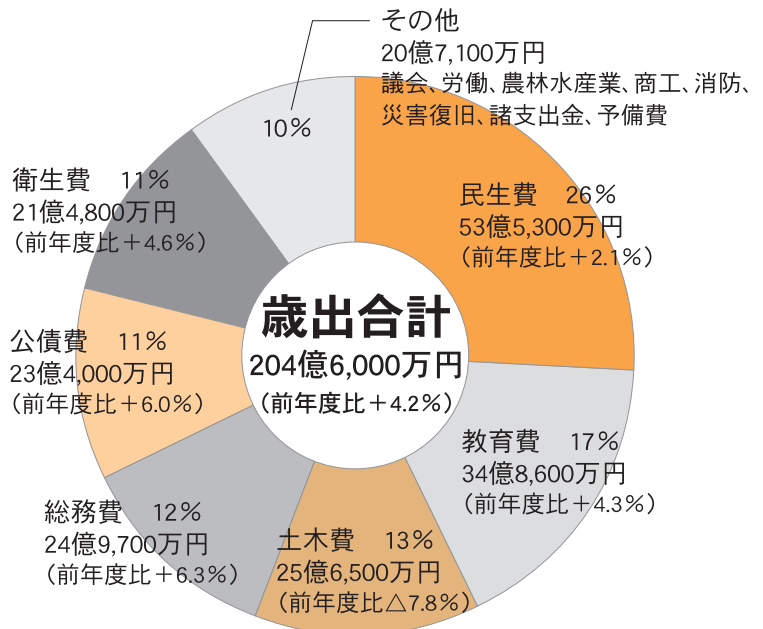


【一般会計歳入予算】

一般会計の歳入内訳を見ると、市税が最も多く、例年通り約6割を占めています。また、構成割合のうち2番目に大きい市債が、前年度と比較して伸びが最も高くなっています。これは、小学校建設事業債の発行が最も大きな要因と考えられます。

【一般会計目的別歳出予算】

一般会計歳出予算の目的別の内訳を見ると、民生費が最も高く、次に教育費、土木費の順となっています。前年度と比較して伸びが最も高いのは総務費で税還付金などの事業費の増額によるものです。



【一般会計性質別歳出予算】

一般会計の歳出の内訳を、経費の使われる性質から分析するため分類したものが左の性質別歳出予算です。

構成割合は人件費、物件費、投資的経費の順となっています。補助費などの伸びが高いのは、企業誘致奨励金や、牛久消防署東部出張所建設に伴う負担金の増額によるものです。

また、投資的経費の伸びが高いのは、小学校土地購入費や、牛久沼周辺整備費の増額によるものです。